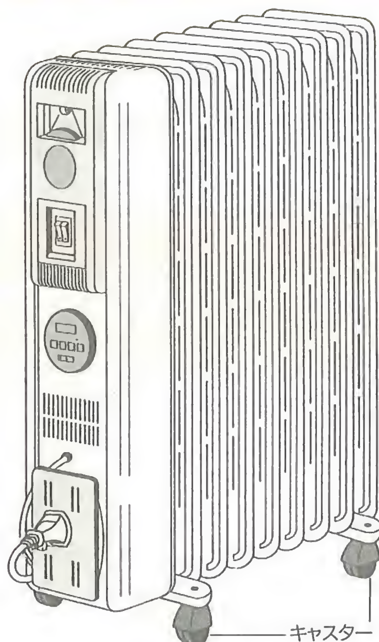
(伊)デロンギ社製 オイル密閉式ラジエター型ヒーター
デロンギ ヒーター

DeLonghi
MADE IN ITALY

取扱説明書

Mod.
H310912TDC

9枚フィン：サーマルカット 1200W デジタルタイマー付



★キャスターの取付け方（6頁）をお読みのうえ、キャスターをヒーター下部に取り付けてください。

このたびは、デロンギヒーターをお買上げいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの製品を正しく安全に使用していただくため、ご使用の前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。
また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。

もくじ

【安全上のご注意　*必ずお守りください*】

●ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

●ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

●注意事項は、誤った取扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、**「危険」「警告」「注意」**の三つに区分し、明示しています。

⚠危険	**この表示を無視して誤った取扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容」を示しています。**
⚠警告	**この表示を無視して誤った取扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して誤った取扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。**

●各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示（記号）が付いています。

 **：発火注意**

 **：感電注意**

 **：高温注意**

 **：禁止行為**

 **：分解禁止**

 **：強制または指示**

 **：差込みプラグをコンセントから抜く**

電源について　⚠警告

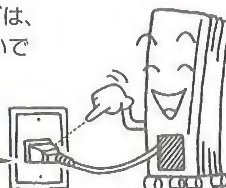
●電源は、一般家庭用100V／50・60Hzをご使用ください。

●電源は、「15A 125V」と記されている<u>壁面のコンセント</u>から<u>直接</u>おとりください。

ヒーターの差込みプラグは、コンセントに<u>直接</u>つないでください。



15A125V



●ヒーターは、<u>単独で</u>ご使用ください。

●二口コンセントの場合は、片方の差込み口を<u>空けたままで</u>ご使用ください。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱し、発火することがあります。



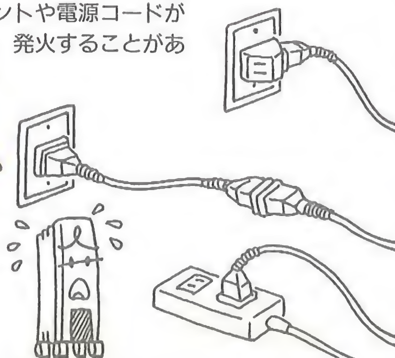


電源について ⚠警告

●延長コード、テーブルタップ、ソケットなどは、絶対に使用しないでください。

コンセントや電源コードが発熱し、発火することがあります。

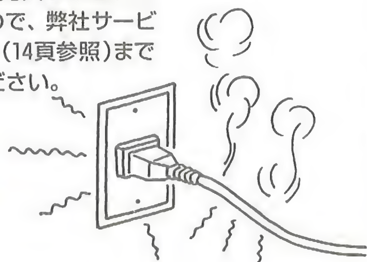




●運転中、差込みプラグ／電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止してください。

ショートや発火する恐れがありますので、弊社サービスセンター（14頁参照）までご相談ください。

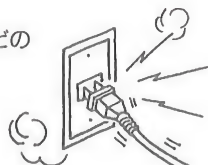




●差込みプラグは、根元までしっかりと差し込んでください。また、差し込み口のゆるいコンセントは、使用しないでください。

感電、ショート、発火などの原因になります。

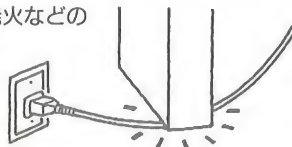




●差込みプラグ／電源コードは、傷付けたり、無理に曲げたり、重たい物をのせないでください。

感電、ショート、発火などの原因になります。

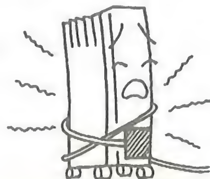




●運転中は、電源コードがラジエター（放熱板）に触れないようにしてください。

熱で電源コードが傷み、ショートや感電などの原因になります。

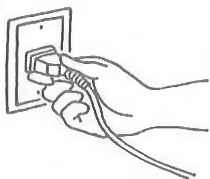




電源について ⚠注意

●電源コードをコンセントから抜く際は、必ず差込みプラグを持って抜いてください。

電源コードを持って無理に引っ張ると、破損し、感電やショート、発火などの原因になります。





●濡れた手で、差込みプラグの抜き差しをしないでください。

感電の恐れがあります。





●運転の際、電源コードはコード・ホルダーから解いてください。



設置場所について　⚠警告

●テーブルや机、電源をとるコンセントのすぐ下での使用は、お止めください。

ヒーターの上部をふさぐと対流ができず高温になり、火災やヤケド、故障などの原因になります。

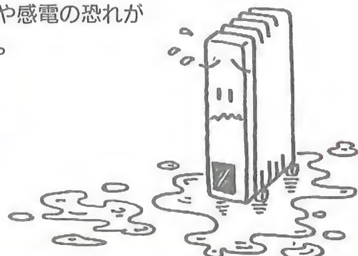




●水や湿気の多い場所での使用は、お止めください。

ショートや感電の恐れがあります。



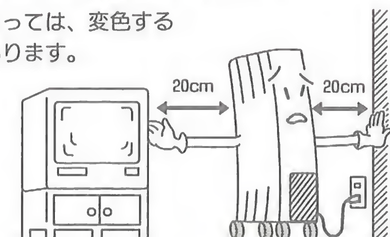


設置場所について　⚠注意

●壁や家具、電源をとるコンセントからは必ず20㎝以上離してください。

材質によっては、変色する場合があります。

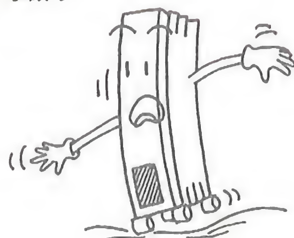




●平らなところ(床)に置いてください。

倒れると、ケガや事故の恐れがあります。





使用する上で ──　⚠危険

●キャスターは、必ずヒーター本体の下部に取り付けてください。

誤って上部に取付け使用すると、火災や故障などの恐れがあり、危険です。

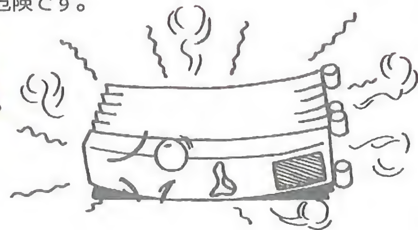




●横倒しでの使用は、絶対にお止めください。

火災や故障などの恐れがあり、危険です。





使用する上で ―― ⚠警告

●ふとんや毛布、濡れたもの(洗濯物)などをかけないでください。

過熱により、火災や故障などの恐れがあります。

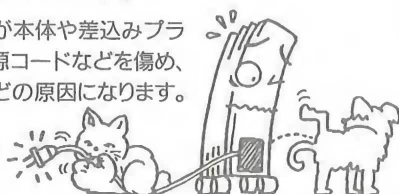




●犬や猫など、ペットの暖房用に使用しないでください。

ペットが本体や差込みプラグ／電源コードなどを傷め、火災などの原因になります。





●本体にはオイルが密封されているため、分解や修理、改造はお止めください。

発火や故障などの原因になります。

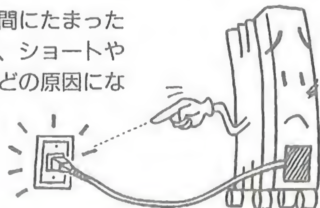




●長期使用しない場合は、必ず差込みプラグをコンセントから抜いてください。

コンセントの間にたまったゴミや結露が、ショートや漏電、発火などの原因になります。





使用する上で ―― ⚠注意

●ヒーターの移動は、冷えてから行なってください。



●ラジエターのスキ間や格子部に異物を入れないでください。

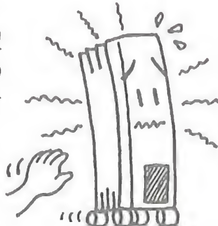


運転中は ―― ⚠警告

●運転中および停止直後は、ラジエター(放熱板)に触れないでください。

ラジエターの表面温度は、中心部で100℃前後、周辺で65℃前後になりますので、長く触れているとヤケドをする恐れがあります。





●本体および操作パネルに、水やジュースなどをこぼさないでください。



万一こぼした場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに使用を中止して、弊社サービスセンター(14頁参照)までご相談ください。



●万一、異常が生じた場合は、直ちに電力スイッチを切り、差込みプラグをコンセントから抜き、使用を中止します。



異常な状態で使用を続けると、事故や故障につながります。必ず、弊社サービスセンター(14頁参照)までご連絡ください。

運転中は —— ⚠注意

●小さなお子様がいるときは、必ず付き添ってください。





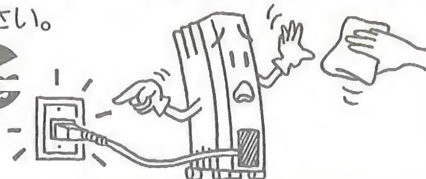
●ブレーカー(分電盤内の配線遮断器)が落ちる場合は、電力会社にご相談ください。



お手入れ、保管について ⚠警告

●必ず差込みプラグをコンセントから抜き、ヒーターが冷えてから行なってください。





お手入れ、保管について ⚠注意

●洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは使用しないでください。





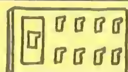
知っておいていただきたいこと

A(アンペア)定格電流について——

お求めのヒーターの定格電流は12A(アンペア)です。ご家庭内の他の(使用中の)電気器具のそれとの合計値が、契約電力(電気料金の請求書/基本契約欄に00Aと記載)を超えていないか——ご確認ください。
ちなみに、定格電流の算出方法は、右記の通りです。

$$\text{定格電流(A)} = \frac{\text{消費電力(W)}}{100(=\text{電圧V})}$$

ブレーカーについて——



ブレーカー(分電盤内にある配線遮断器)は、その回路で電気を使い過ぎた時や、何らかの原因で瞬時に大電流が流れた時に、自動的に電気を断ち、その回路を守ります。
契約電力が不足している場合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き(=落ち)ます。
※契約電力が不足している場合は、電力会社に増量を依頼してください。

電気代(目安)について——

暖房する部屋の条件(建材や位置など)により異なりますが、おおよそ右記の通りです。

スイッチを入れてから30分〜1時間(電力は最大に設定)	室温が適温に達した後サーモスタットで調節(ヒーター稼働率60%)
約29円/時間	約17円/時間

各部の名称とはたらき

操作パネル

くるみ仕様

サーモスタット

室内の温度を自動調節、適温の設定に使用します。ダイヤルを右に廻す(数字が大きくなる)ほど温度が高くなります。

ラジエター(放熱板)

難燃性オイルが密封されていて、下部には棒状の電気ヒーターが入っています。ヒーターにより暖められたオイルはパネル内を循環。サーマルカットフィン(放熱板)で効率良く放熱し、自然対流により空気を温めます。

パイロットランプ

電力切替えスイッチ

2つのスイッチで、消費電力を500W・700W・1,200Wの3段階に切替えられます。

デジタルタイマー

暖房の開始(ON)と停止(OFF)を自動的に行なうプログラムを6セットまで設定できる24時間デジタルタイマーです。

差込みプラグ

電源コード

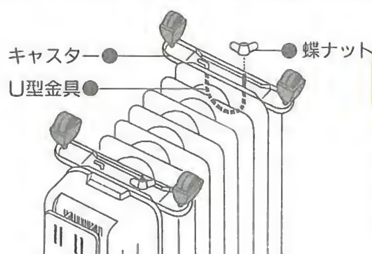
コード・ホルダー

使用しない時(移動時など)に電源コードを巻いて収納します。プラグ収納差し穴つき。

キャスター

キャスターの取付け方

付属のキャスター(2組)を、U型金具と蝶ナット(各2)で、本体下部の両端にしっかりと固定します。
取り付けは、本体を仰向けにして行ないます。



※この図は、本体を仰向けにした状態です。

⚠危険

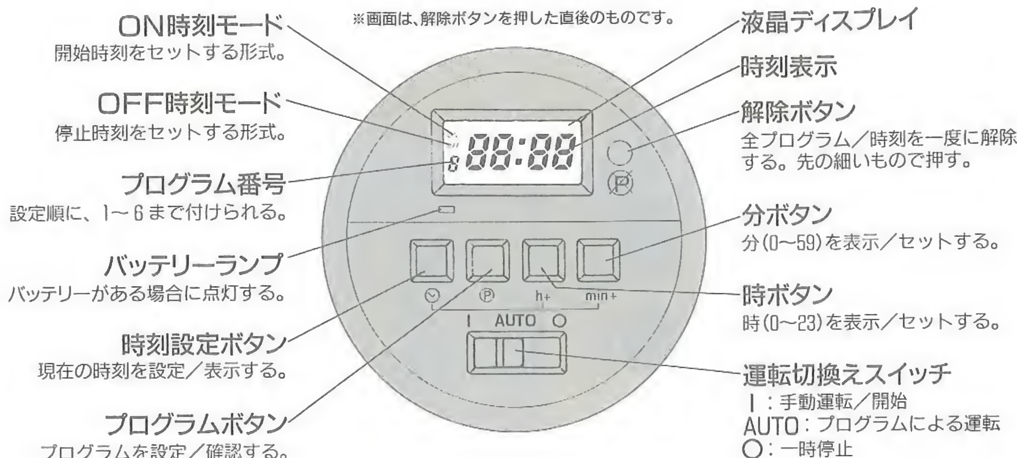
キャスターを誤って本体の上部に取付け使用すると、火災や故障などの恐れがあり危険です。ご注意ください。

デジタルタイマーのしくみと使い方

●ON／OFF型デジタルタイマーです。
暖房の開始(ON)と停止(OFF)時刻を設定できます。

●24時間プログラム式です。
一度設定(6セットまで可)すれば、毎日、同じ時刻に一定の時間だけ暖房できます。

各部の名称としくみ



※タイマーにはバックアップ用のバッテリーが内蔵されており、差込みプラグをコンセントから抜いても、しばらくは作動します。ただし、長期間使用しなかった場合などは、バッテリーが不足し、液晶ディスプレイが表示されないことがあります。こんなときは、差込みプラグをコンセントに入れ、1時間ほどお待ちください。

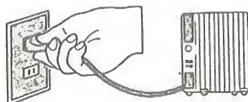
◎時刻の合わせ方

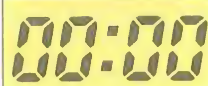
※オート運転をするには、現在の時刻合せが必要です。

ディスプレイ画面

1 電源を接続する

差込みプラグを壁面のコンセントに直に差し込みます。





2 時、分を合わせる

時刻設定ボタン㋙を押しながら、時(h+)および分ボタン(min+)を必要な回数だけ押します。



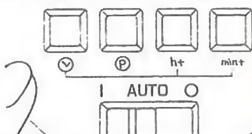
押し続けると、数字が早く進行する。



[例：午前8時30分]

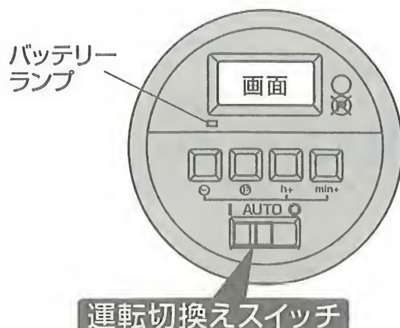
3 時刻を「確定」する

時／分を合わせたら、時刻設定ボタン㋙から指を離します。(完了)





デジタルタイマー使用上の注意点



＊ご使用の前に、必ずお読みください。

デジタルタイマーは、万一の停電などに備え、設定した時刻およびプログラムをバックアップするためのバッテリーを内蔵しています。但し、このバッテリーの蓄電量が不足するとヒーター本体が正常に作動しませんので、以下の点に注意してご使用ください。

最初に、または毎シーズン初めに使用する場合

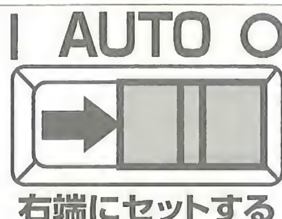


●蓄電量が不足していることがあります。

差込みプラグをコンセントに入れ、運転切換えスイッチを左端（I：手動運転／開始）にセットします。約1時間（★）の充電でバッテリーランプが点灯し、実用蓄電量に達すると画面にデジタル表示が現れます。

★充電時間は、蓄電の残り量に左右されますので、更に数時間を要する場合もあります。

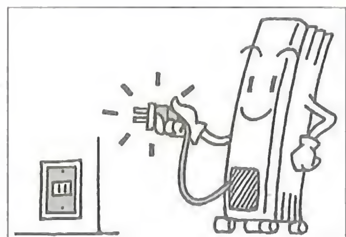
シーズンオフ、または長期間使用しない場合



●バッテリーの電気（蓄電）を節約してください。

シーズンオフなど、長期間ヒーターを使用しない場合は、必ず運転切換えスイッチを右端（O：一時停止）にセットし、差込みプラグをコンセントから抜きます。

バッテリーの電気（蓄電）を無駄使いしない（＝残り量を多くする）ことで、次回の充電時間を短縮できます。



必ずお守りください

バッテリーの電気（蓄電）が放電してしまうと、次回の充電時間が約5～6時間になる場合もありますので、ヒーターを長期間使用しないときは――

1. タイマーの運転切換えスイッチを右端にセットする
2. 差込みプラグをコンセントから抜く

以上の点を、必ずお守りください。

オート（プログラム）運転のしかた

―― タイマー（プログラム）で自動暖房する場合の操作手順 ――

［例：午前9時30分から午後1時まで、1回暖房する場合］

ディスプレイ表示

1 時刻を合わせる

電源を接続し、タイマーに現在の時刻をセットします。

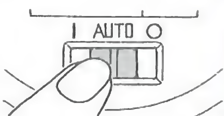
7頁参照

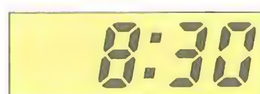


現在時刻：午前8時30分（仮定）

2 オート運転に切り換える

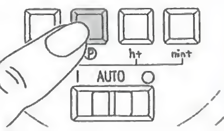
運転切換えスイッチをAUTOにセットします。

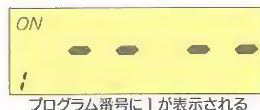




3 プログラムボタンⓅを押す

プログラム1のON時刻の設定が可能になります。

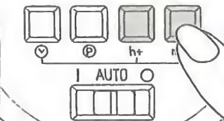


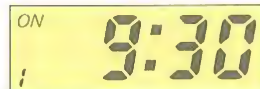


プログラム番号に1が表示される

4 開始時刻をセットする

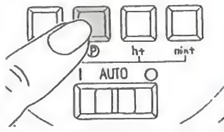
時(h+)、分ボタン(min+)を押して、希望の開始時刻をセットします。





5 プログラムボタンⓅを押す

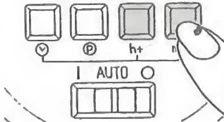
開始時刻が確定し、プログラム1のOFF時刻が設定可能になります。





6 停止時刻をセットする

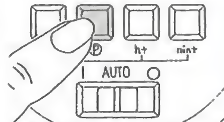
時(h+)、分ボタン(min+)を押して、希望の停止時刻をセットします。





7 プログラムボタンⓅを押す

停止時刻が確定し、プログラム2のON時刻が設定可能になります。





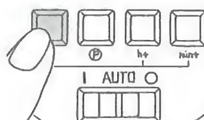
プログラム番号に2が表示される

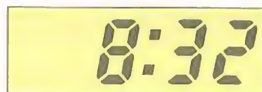
▶手順4～7を繰り返すことで、最高6セットまでのプログラムが設定可能です。

手順8に続く↗

8 プログラム設定の終了

時刻設定ボタン㋲を押します。時刻表示に戻り、オート運転が開始されます。

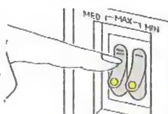




現在時刻の表示になる

9 電力スイッチを入れる

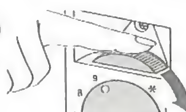
電力切替えスイッチを2つとも入れます。



オート運転時は、あらかじめ電力スイッチを入れておかないと、開始時刻になっても運転されませんので、ご注意ください。

10 サーモスタットを最大にする

サーモスタットのダイヤルを右にいっぱいに廻します。



お望みの室温になったら、サーモスタットをゆっくりと左に戻し、パイロットランプが消えた位置で止めます(＝適温の設定)。

あとは、設定した時刻を変更／解除しない限り、毎日、同じプログラムで運転(暖房)を繰り返します。適温の設定は、次頁「マニュアル運転のしかた」手順5を参照してください。

◎オート運転の変更／解除のしかた、注意点

プログラムを変更／解除する

●プログラム(時刻)を確認する場合 ——

①プログラムボタンを押し、順次、プログラムを呼び出す

②確認後、時刻設定ボタンを押す

●プログラム(時刻)を変更する場合 ——

①プログラムボタンを押し、変更するプログラムを呼び出す

②時、分ボタンで新しい時刻をセットする

③プログラムボタンを押す（→確定)

④時刻設定ボタンを押す

●プログラムを一時的に解除する場合 ——

運転切換えスイッチを｜(運転開始)または○(停止)にセットします。



プログラムに関係なく暖房(運転)する場合



プログラムに関係なく暖房を止める場合

プログラムによるオート運転に戻すには、AUTOにセットします。

●全てのプログラムを解除する場合 ——

解除ボタンを(先の細いもので)押します。

※同時に、「現在の時刻」も解除されます。

プログラム設定上のご注意

●プログラムの作動時間がダブったり、つながったりすると次のプログラムは運行されません。

(ダブった場合)

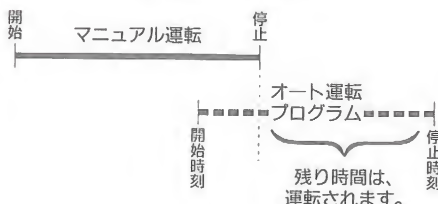


(つながった場合)



プログラム2は、運行されません。

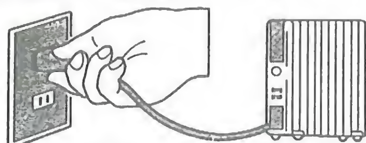
※マニュアル運転がオート運転の時間枠にくい込んだ場合でも、プログラムの残り時間は、運転されます。



マニュアル(手動)運転のしかた

──タイマー(プログラム)によらず、そのつど暖房する場合の操作手順──

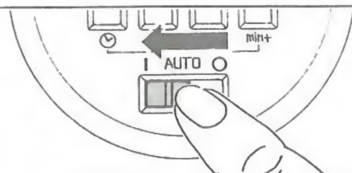
1



電源を接続する

差込みプラグを壁面のコンセントに直に差し込みます。根元までしっかりと入れてください。

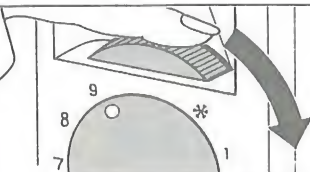
2



手動運転に切り換える

タイマー下部の運転切換えスイッチをＩ(左端)にセットします。

3



サーモスタットを最大にセットする

サーモスタットのダイヤルを右にいっぱいに廻し、出力レベルを最大にセットします。

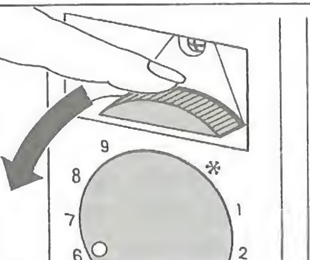
4



暖房運転を開始する

電力切替えスイッチを入れます。(早く暖めるために、スイッチを2つとも入れ、電力を最大にしてください。)
パイロットランプが点灯し、暖房が開始されます。
MIN(弱)+MED(中)=MAX(強)

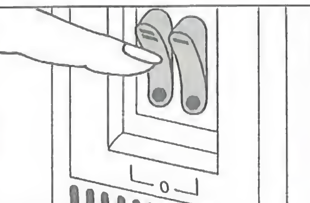
5



適温(体感温度)を設定する

お望みの室温になったら、サーモスタットをゆっくりと左に廻して、パイロットランプが消えたところで止めます。
これで適温がセットされ、後は自動的に適温が保たれます。
室温を上げたいときはサーモスタットを右に廻し(数字が大きくなる)、下げたいときは左に廻します。

＊



暖房運転を停止する

電力切替えスイッチを切り、差込みプラグをコンセントから抜きます。

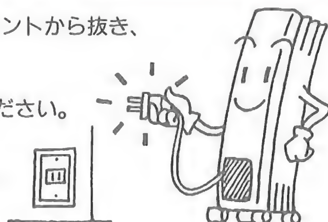
⚠高温注意：ラジエターは、停止後しばらくは熱いので、触れないでください。

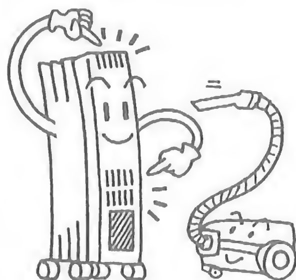
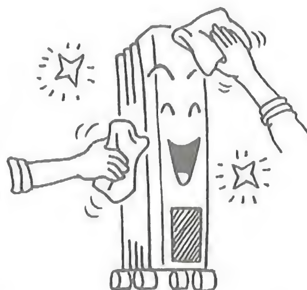
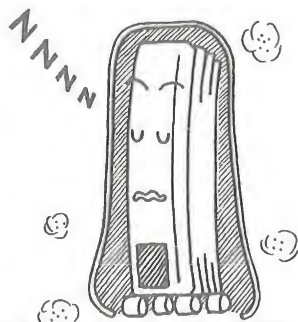
お手入れ／保管のしかた


お手入れおよび保管をするときは、必ず差込みプラグをコンセントから抜き、ヒーターが冷えてから行なってください。


洗剤やクレンザー、シンナー、金たわし等は、使用しないでください。

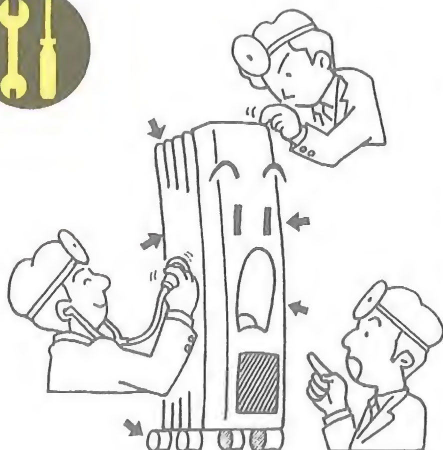

保管の際は、横倒しにしたり、上に物を乗せないでください。



●お手入れは、定期的に行なってください。 ●操作パネル内のゴミやホコリは、掃除機を使って吸い取るか吹き出してください。 	●本体は、乾いた軟らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、布にお湯を含ませ、かたく絞ってからふいてください。 	●収納／保管する場合は、商品パッケージに入れるかカバーをして ホコリを防ぎ、乾燥した場所に置いてください。  ※デロンギ・エコカバーをご利用ください。

真心点検について





長年ご使用の ——
デロンギ ヒーターの点検を!!

保証期間(3年)が過ぎて気になる点がございましたら、安全のために、専門技術者による点検(持込み)をお勧めします。点検の依頼方法、料金等につきましては、弊社サービスセンター(14頁参照)までお問い合わせください。

デロンギ・エコカバーの使い方

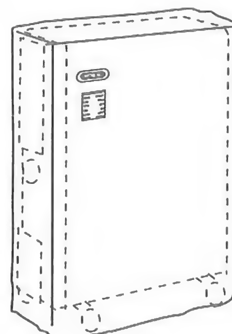
1) **ホコリよけのカバーとして：** シーズンオフに、収納／保管用カバーとしてご利用ください。

2) **ご不用時／回収ご依頼時の梱包材として：** デロンギヒーターに使用しているオイルには、環境に有害な有機塩素化合物・重金属が含まれておりません。しかし、自治体によっては、ご不用になったオイルヒーターを引き取らない場合があります。その際は、下記の要領に従い、弊社サービスセンター（右頁参照）までお送りください。素材ごとに分別し、リサイクルいたします。



送料について▶リサイクル費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となります。予めご了承ください。

梱包について▶ご不用になったデロンギヒーターを付属のデロンギ・エコカバーで包んでお送りください。また、**デロンギ・エコカバー以外のもので梱包／返送された場合は、リサイクル費用が有料となることがあります。**



※デロンギ・エコカバーは、無漂白の綿100％で作られています。

仕様

製品名称	デロンギヒーター サーマルカットフィン デジタルタイマー付
型式番号／放熱板の数	H310912TDC／9枚
適用畳数	3～8畳
電圧／周波数	AC-100V／50･60Hz
消費電力	500・700・1200W
外形寸法／重さ	長さ44×幅22×高さ64㎝／15.1kg
タイマー	24時間プログラム式デジタルタイマー
安全装置	転倒時 自動電源遮断装置・復帰型安全ヒューズ
電源コードの長さ	2m
付属品	キャスター×2、U型金具×2、蝶ナット×2 デロンギ・エコカバー

※外形寸法および重さは、キャスターを取り付けた状態での数値です。

これは故障ではありません

初回ご使用時の臭いについて

初めてご使用になる時に、若干、異臭を感じる場合があります。これは、ラジエターの塗装面が熱になじむまでのことで、機能や安全性に問題はありません。ただし、数度ご使用されても臭いがしたり、初回でも臭いがきつい場合は、他の原因も考えられますので、ご使用を中止し、弊社サービスセンター(下記参照)までご連絡ください。

パチッパチッと音がする

スイッチを入れると、しばらく天ぷらを揚げるような音がする場合があります。これは、外気との温度差により、ラジエター内部に結露が生じ、熱くなったオイルに落ちたときのものです。異常ではありません。

操作パネル内に青白い光が見える

周りが暗いと、操作パネル内部に青白い光が見えることがあります。これは、サーモスタットまたはタイマーが電源をON／OFFする際のもので、故障ではありません。

アフターサービス

- 使用中に異常が生じたときは、直ちに電力スイッチを切り、差込みプラグをコンセントから抜き、お求めになった販売店か弊社サービスセンター(下記参照)にご相談ください。
- 万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に**①お求めの時期②製品名称と型式番号③故障の状況**を連絡のうえ、修理を依頼してください。
- 宅配便などを利用して弊社に返送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージに同封くださるようお願いします。
- ご転居、ご贈答、その他保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の点があれば、お求めの販売店か下記までお問い合わせください。

お問い合わせは —— サービスセンターまで

東京：

デロンギ・ジャパン サービスセンター
(受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30～18:00まで)

●横浜：〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫㈱内4号ビル
Tel.0120-804-280／Fax.045-450-3291

DeLonghi デロンギ・ジャパン株式会社



(サービス受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9：30～18：00)



DHI-0008


環境にやさしい無塩素漂白エコパルプ(ECF)とソイインクを使用しています。





デロンギ・ジャパン株式会社

本　　社：〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel. 03-5256-6321(代)
大阪支店：〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-15 ニュー備後町ビル Tel. 06-6263-6116(代)